



目指すは  
師範資格取得!!

たかの めぐみ  
**高野 恵**さん(当別中学校2年生)

書道のその奥深さに楽しさを感じて現在、上位段取得を目指すべく練習に励んでいる高野恵さん(当別中学校2年生)にお話を伺いました。

### 習い事をしたかった

**小学**3年生の時に、周りの友達がいろいろな習い事をしているのを聞いて自分も何かやってみたいと思い、書道を習い始めました。



話している恵さんは笑顔の素敵な中学生でした。

### さらに上を目指す

**お手本**の書を参考にしながら書く課題の部、文字が指定されて、あとは本人が自由に書く創作の部、昨年からは硬筆の部(ボールペン字)にも取り組んでいます。一番得意なのは創作の部です。ただ、文字によっては得意、不得意なものがあります。また、その時の心境によっても書き上がった書が違うので書道って本当に難しいです。創作の部は見本がないので、自由に書けますが、一瞬の気の迷いで上手く書けるか、失敗するかが決まってしまうので、必ず書き始める前に頭の中でイメージを膨らませて一気に書き上げます。自分らしさを表現するには、いかに最初のイメージを上手く持つことができるか、とても難しいです。現在、課題の部で優待生(八段相当)、創作の部で六段、硬筆の部で五段



写真(右上)課題の部「寒流」  
写真(左上)創作の部「碧」



第25回墨遊書展(道書道教育研究会主催)では課題の部で見事入選を果たしました。

を取得しています。高校生以上になると行書や草書も習い、師範資格を取得する試験を受けることができるので、これからも練習を重ね、師範試験に挑戦したいです。

### 勉強にもなる書道

**練習**では中国の書に関する歴史も学びます。中国の古典に書かれてある漢字をもとに先生が見本の「書」を書き、それを参考に練習しています。書道を習い始めてから漢字もたくさん覚えることができました。今まで休むことなく続けてきて良かったと思います。今では私にとって書道はなくてはならない大切なものです。

書道の他に部活、そろばんと多忙な日々を送りながら自分への挑戦を続ける恵さん。「継続は力なり」そんな言葉が彼女にピッタリだと思いました。(4月17日取材)